

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンマルクホールディングス

コード番号 3395 URL <http://www.saint-marc-hd.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 片山 直之

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 綱嶋 耕二

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 086-246-0309
平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	18,516	3.7	2,897	△6.8	2,929	△6.2	1,563	△0.3
21年3月期第2四半期	17,862	—	3,108	—	3,124	—	1,567	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	138.05	—
21年3月期第2四半期	138.43	138.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	31,806	26,237	82.5	2,316.61
21年3月期	30,736	25,115	81.7	2,217.44

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 26,237百万円 21年3月期 25,115百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	39.00	—	39.00	78.00
22年3月期	—	39.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	39.00	78.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,544	2.8	6,049	△0.4	6,100	0.1	3,200	0.2	282.59

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 11,388,685株 21年3月期 11,388,685株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 62,711株 21年3月期 62,470株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 11,326,034株 21年3月期第2四半期 11,323,708株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月18日に公表いたしました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、4ページ「定性的情報・財務諸表 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、在庫調整の進展や輸出、生産の持ち直しなどにより、昨年来の米国発金融危機から最悪期は脱して回復基調にあるものの、一部の外需による輸出関連産業や経済政策効果による耐久消費財関連産業を除き、全体的に非常に厳しい経済状況が続いております。

外食産業におきましては、引き続き雇用・所得環境の悪化を背景とした将来に対する不安感から、生活防衛意識が強まり、個人消費も低調に推移し、厳しい経営環境となっております。

このような状況の中、当社グループは中長期的な成長展望のもと、着実な新規出店、既存業態の顧客満足の追求や、人材育成、更なるコスト削減交渉及び将来を見据えた成長の礎となる新規業態開発に注力してまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・サンマルク直営1店舗、FC1店舗、計2店舗、すし処函館市場直営1店舗、ベーカリーレストラン・バケット直営3店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営5店舗、広東炒飯店（石焼ごはん倶楽部）直営5店舗、サンマルクカフェ直営4店舗、実験中のサンマルクパスタ

（ピッコロ）直営2店舗、神戸元町ドリア直営2店舗、グリル蔵敷直営1店舗をそれぞれ出店し（当第2四半期連結累計期間出店数：直営24店舗、FC1店舗、計25店舗）、これにより当社グループ全業態の第2四半期連結累計期間末の合計店舗数は、直営店447店舗、フランチャイズ店147店舗、合計594店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上185億16百万円（前年同期比3.7%増）、経常利益29億29百万円（同6.2%減）、四半期純利益は15億63百万円（同0.3%減）となりました。

事業部門別の業績等は次のとおりであります。

レストラン事業部門売上高は100億45百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は19億91百万円（同13.6%減）となりました。

ファーストフード事業部門売上高は75億99百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益は12億72百万円（同1.1%増）となりました。

事業統括管理部門売上高は8億71百万円（前年同期比108.8%増）、営業損失は3億66百万円（前年同期営業損失4億56百万円）となりました。

(注) 当社グループは、外食事業における多業態展開を図っており、中長期的にもさらなる展開業態数の増加が見込まれることから、事業の類似性を鑑み、前連結会計年度より上記のとおり従来の主力業態別の6事業部門をレストラン事業及びファーストフード事業の2事業部門に集約することといたしました。すなわち、従来のサンマルク事業、函館市場事業、バケット事業、鎌倉パスタ事業、サンマルクチャイナ事業を「レストラン事業」として集約し、カフェ事業を「ファーストフード事業」としてしております。したがって、事業部門における前年同四半期比較にあたっては、当該部門を当第2四半期連結累計期間をベースに遡及算出しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は318億6百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億69百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は95億68百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億5百万円の増加となりました。これは主に営業活動による利益等の確保により、現金及び預金が9億19百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は222億37百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億63百万円増加となりました。これは事業拡充のための直営店出店等に伴うリース資産が1億44百万円、敷金及び保証金が1億58百万円増加したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は42億67百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億1百万円の減少となりました。これは未払消費税等1億8百万円の増加がありましたが、未払金が1億71百万円、買掛金が1億31百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は、13億円で前連結会計年度末と比較して48百万円の増加となりました。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して11億22百万円増加して262億37百万円となりました。この結果、自己資本比率は82.5%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により獲得した資金は25億21百万円となり、その増加の主なものは税金等調整前四半期純利益27億65百万円を獲得したためであり、減少の主なものは、法人税等の支払いが12億57百万円発生したこと等によるものであります。投資活動におきましては9億97百万円の資金を使用し、その主なものは有形固定資産の取得による支出7億44百万円を行ったこと等によるものであります。財務活動におきましては5億92百万円の資金を使用し、その主なものは配当金の支払4億38百万円及びファイナンス・リース債務返済支出が1億52百万円発生したこと等によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して9億19百万円増

加し、74億30百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

外食業界を取り巻く経営環境は、個人消費の低迷による厳しさもあり、当第2四半期累計期間の連結売上高、経常利益ともに当初計画を若干下回る水準で推移しております。下期におきましては、各業態における店舗サービスレベルの維持向上を目的とした体制の強化と販売促進活動の注力を両輪として諸施策を推進していく予定であります。今後の消費環境は引き続き厳しい経営環境となることが想定され、売上高の減少及び販売費及び一般管理費の負担を吸収しきれず、また、平成21年5月18日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想を以下のとおり変更いたします。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	39,524	6,560	6,600	3,498	308 92
今回修正予想 (B)	37,544	6,049	6,100	3,200	282 59
増減額 (B-A)	△1,979	△510	△500	△298	△26 33
増減率 (%)	△5.0	△7.8	△7.6	△8.5	△8.5
前期実績	36,536	6,075	6,094	3,194	282 04

なお、事業部門別の業績予想は以下のとおりであります。

レストラン事業部門におきましては、売上高205億16百万円（前期比2.7%増）、営業利益41億16百万円（同5.6%減）を見込んでおります。

ファーストフード事業部門におきましては、売上高152億23百万円（前期比0.8%減）、営業利益26億43百万円（同2.5%増）を見込んでおります。

事業統括管理部門におきましては、売上高18億5百万円（前期比49.3%増）、営業損失7億9百万円（前期営業損失8億63百万円）を見込んでおります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却費の算定方法に関し、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測を利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,430,458	6,510,970
売掛金	1,598,197	1,770,511
商品	367	405
原材料及び貯蔵品	151,507	141,131
その他	401,201	453,114
貸倒引当金	△13,182	△13,459
流動資産合計	9,568,549	8,862,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,806,872	10,773,569
土地	2,267,873	2,267,873
その他（純額）	1,382,135	1,228,857
有形固定資産合計	14,456,881	14,270,300
無形固定資産		
その他	85,443	92,143
無形固定資産合計	85,443	92,143
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,328,499	6,169,951
その他	1,366,659	1,341,473
投資その他の資産合計	7,695,158	7,511,425
固定資産合計	22,237,483	21,873,868
資産合計	31,806,033	30,736,542
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,045,827	1,177,423
未払金	1,226,545	1,397,721
未払法人税等	1,180,387	1,235,516
引当金	131,541	53,227
その他	683,568	505,835
流動負債合計	4,267,870	4,369,724
固定負債		
引当金	46,595	44,600
その他	1,253,712	1,207,003
固定負債合計	1,300,308	1,251,603
負債合計	5,568,179	5,621,327

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,038,799	3,038,799
利益剰余金	21,649,998	20,528,182
自己株式	△175,286	△174,631
株主資本合計	26,244,689	25,123,529
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,631	7,643
為替換算調整勘定	△13,466	△15,957
評価・換算差額等合計	△6,835	△8,313
純資産合計	26,237,854	25,115,215
負債純資産合計	31,806,033	30,736,542

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	17,862,608	18,516,187
売上原価	4,142,174	4,193,192
売上総利益	13,720,434	14,322,995
販売費及び一般管理費	10,612,155	11,425,181
営業利益	3,108,278	2,897,813
営業外収益		
受取利息	4,818	1,622
受取配当金	3,259	2,496
受取賃貸料	54,505	56,956
為替差益	6,081	—
受取補償金	—	25,059
その他	7,627	23,532
営業外収益合計	76,292	109,667
営業外費用		
支払賃借料	46,698	46,335
持分法による投資損失	6,820	1,810
その他	6,939	30,099
営業外費用合計	60,458	78,245
経常利益	3,124,112	2,929,235
特別利益		
貸倒引当金戻入額	242	280
特別利益合計	242	280
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	86,023	35,249
投資有価証券評価損	12,074	—
減損損失	241,282	128,646
特別損失合計	339,380	163,897
税金等調整前四半期純利益	2,784,975	2,765,618
法人税、住民税及び事業税	1,308,700	1,202,700
法人税等調整額	△91,309	△607
法人税等合計	1,217,390	1,202,092
四半期純利益	1,567,585	1,563,526

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,784,975	2,765,618
減価償却費	522,584	697,715
減損損失	241,282	128,646
その他の引当金の増減額 (△は減少)	97,696	80,309
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△130	△277
受取利息及び受取配当金	△8,078	△4,119
支払利息	1,387	6,532
為替差損益 (△は益)	△6,081	12,342
持分法による投資損益 (△は益)	6,820	1,810
投資有価証券評価損益 (△は益)	12,074	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	0
固定資産除却損	86,023	35,249
売上債権の増減額 (△は増加)	69,861	172,313
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,694	△10,337
仕入債務の増減額 (△は減少)	△39,796	△131,596
未払金の増減額 (△は減少)	94,046	△98,251
その他	△132,188	126,948
小計	3,725,784	3,782,906
利息及び配当金の受取額	6,874	2,932
利息の支払額	△1,184	△6,232
法人税等の支払額	△1,492,911	△1,257,828
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,238,562	2,521,778
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,825,568	△744,756
有形固定資産の売却による収入	12,524	19
有形固定資産の除却による支出	—	△9,602
無形固定資産の取得による支出	△4,923	△4,291
投資有価証券の取得による支出	△178	△39
その他	△539,056	△239,102
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,357,201	△997,772
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△735	△771
自己株式の売却による収入	52,061	128
配当金の支払額	△579,053	△438,926
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△30,471	△152,604
財務活動によるキャッシュ・フロー	△558,199	△592,174
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,081	△12,342
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△670,757	919,488
現金及び現金同等物の期首残高	7,052,857	6,510,970
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,382,100	7,430,458

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間において、当社グループは外食事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間において、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

「参考資料」

(1) 部門別仕入実績

(単位：千円)

事業部門別	金額	前年同期比
レストラン	2,455,119	99.0 %
ファーストフード	1,565,204	99.3
事業統括管理	184,169	206.2
合計	4,204,493	101.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 部門別販売実績

(単位：千円)

事業部門別	金額	前年同期比
レストラン	10,045,636	100.7 %
ファーストフード	7,599,465	101.7
事業統括管理	871,085	208.8
合計	18,516,187	103.7

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 種類別販売実績

(単位：千円)

種類別 事業部門別	直営店売上		ロイヤリティ収入		F C 関連等売上		合計	
	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)
レストラン	8,415,788	103.1	500,494	85.6	1,129,353	92.0	10,045,636	100.7
ファーストフード	7,353,920	101.6	41,711	165.2	203,833	97.3	7,599,465	101.7
事業統括管理	855,518	209.1	—	—	15,566	192.1	871,085	208.8
合計	16,625,227	105.2	542,205	88.9	1,348,754	93.3	18,516,187	103.7

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。